

「森の自然ほいくえん東本梅」が はじまりました！

～自然の中で遊び、学ぶ「亀岡型自然保育」～



希望に満ちた門出の日を祝う「はじまりの会」

今年度から、豊かな自然環境を活かし、戸外での自然体験活動を積極的に取り入れた「亀岡型自然保育」を実施する東本梅保育所。「森の自然ほいくえん東本梅」を愛称に、自然体験活動アドバイザーを配置し、専門的なサポート体制を整えた上で、保護者や地域の皆さんと協力しながら子どもたちが自然と触れ合いながら成長できる保育を目指します。

魅力的な園庭を デザインしよう

自然保育の実施に先立ち、2月9日と3月2日には、東本梅ふれあいセンターにおいて、同保育所の遊び場づくりワークショップを開催。これは、自然保育プログラムを効果的に行うため、子どもたちの好奇心や創造力を育む園庭のデザインを考えるものです。保護者や地域の皆さんをはじめ、学術協定を締結している同志社女子大学の学生など約30人が参加し、「半国山



園庭のイメージを膨らませるワークショップ参加者

をイメージした築山を作ってはどうか」など意見を出しながら、遊び場のあり方を話し合いました。

今後、いただいた案をふまえ、子どもたちがいきいきと活動できる園庭となるよう検討を進めてまいります。

自然を表す壁画が お出迎え！

外観には、市内在住のアーティスト小芝高一夢さんによって自然保育を象徴する壁画が描かれました。3月11日には、ワークショップ「親子で壁画制作」を実施し、園児や保護者も芝高さんとともに楽しく制作に参加。華やかに生まれ変わった園舎には、森の自然ほいくえんへの期待と希望が詰まっています。



ぼくたちアーティスト!

そして、はじまりの日へ

4月5日、入園式の日にあわせて、自然保育のスタートを祝う「森の自然ほいくえん東本梅 はじまりの会」が開かれました。子どもたちによるテープカットやくす玉わりの後、全園児と保護者の手で花苗が植えられました。



きれいに咲きますように



かわいらしいテープカット

希望に満ちたはじまりの日、子どもたちの明るい笑い声が森の自然ほいくえんのスタートを彩ります。